

事業所名

おかえりホームきゅら海

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

2024年

12月

28日

法人（事業所）理念		「共に泣き、共に笑い、共に生きる」を企業理念とし、健常者も障がい者も同じ生活圏で暮らせる社会を目指す		
支援方針		一人ひとりの個性を最大限に発揮して、集団生活から様々な人との関わりを体験し学んでいけるよう、育んでいきます。子供たちひとり一人の課題に合わせた支援を行い、「強み」を伸ばします。		
営業時間		月～金 9時20分から18時20分 土曜日・長期休暇 9時30分から17時30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	子供たちが安心して安全に過ごせる場所を提供します。施設の広さを活かし複数の部屋を利用して、子供たちが自分のしたいことに集中できる環境を作ります。決まった時刻に学習、遊び、レクレーションと、場面・気持ちの切替えが出来るように支援します。絵文字やタイムスケジュール表で視覚的に伝え、行うことを分かりやすく伝えます。		
	運動・感覚	一定時間の着座や正しい姿勢での学習が出来るように支援します。目と手指の協応、体を思い通りに巧みに動かす事が出来るように「ゆびまるこ」の創作活動や、近隣に複数の公園がある立地を活かし、外遊びを通して運動能力が高まるように支援します。		
	認知・行動	視覚的に分かるスケジュール表やタイマーを使い、次に行うことへの気持ちの切り替えができ、行動が出来るように支援します。個人の発達段階に合った学習で、数感覚、計算能力、間違った時のミスを受け入れる力、修正力の発達を支援します。季節のイベントを催し、1年とはどんなものか、季節とはどんなものか、時間の流れを感じられるようにします。		
	言語 コミュニケーション	小学生から高校生までの様々な年齢の子どもたちの中で、学習、遊びを行いながらコミュニケーション能力が発達するよう支援します。個々の言語能力に沿った取組みを行い、言語を使ったコミュニケーション、仕草や表情によるコミュニケーションの能力が発達するよう支援します。さまざまな物・乗り物・店・出来事を絵で表した「会話ブック」で、意思疎通ができる喜びを感じる事が出来るように支援します。		
	人間関係 社会性	来所時・退所時の挨拶、食事時の礼儀作法、お礼の習慣を学んでいきます。仲間と共に学習、遊びをすることで、色々なルールを学んでいくよう支援します。ショッピングセンターや観光施設、体験施設のお出かけを通して、並んで待つことや施設内での利用方法、買い物の支払いの仕方などを習得し社会性の発達を支援します。		
家族支援		常時、ご家族の見学の受け入れを可能にして、子供たちの利用時の様子を見られるようにしています。管理者、児童発達支援管理責任者が、相談事について対応します。	移行支援	学校の先生方と学校と放課後等デイサービスでの学習の状況の違いや過ごしている時の様子などを情報交換し、支援の仕方や進路について相談を行い、保護者も含めた支援を行います。グループの就労継続支援A型事業所見学、作業体験が可能です。
地域支援・地域連携		児童相談支援事業所と連絡を取り、情報共有して連携を取ります。地域のイベントに参加し、放課後等デイサービスだけでは経験できない体験が出来る機会を作っています。	職員の質の向上	毎日のミーティングで取り組んでいくべき課題を吸い上げ、支援方法について検討、共有します。定期的な外部研修の受講と年3回以上の内部研修を行い、障がいへの理解をより深め、新しい支援方法を学びます。
主な行事等		季節の行事（夏祭り、クリスマス会、お正月イベント等）、お誕生日会、避難訓練（地震、水害、火災 年2回）交通安全学習		